

ときわの風

WIND OF TOKIWA

E-mail dosokai@tokiwa.ac.jp

URL http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai/

常磐大学同窓会設立20周年記念講演会開催

実母の介護体験から語る 健康に生きるための食生活

常磐大学同窓会が今年で設立20周年を迎えるに当たり、二〇〇七年六月十六日に記念講演会が水戸京成ホテルで開催されました。講師としてお招きしたのは、エッセイストの安藤和津さん。『明日を素敵に生きるには』と題し、若い世代の食生活の乱れや躰、介護問題と幅広いお話をしていたきました。

講演は、近頃増えてきているキレやすい子どもたちの話題から。数多く考えられる原因の中で、安藤さんは食生活の乱れが一番影響していると考えています。

「いまの時代、料理の出来ないお母さんがいても別に珍しくはありません。なぜなら、インスタント食品が広く普及したからです。簡単でおいしいインスタント食品がたくさんあるなら、お母さんがわざわざ料理する必要はありませんから」
便利で安いインスタント食品。しかし、食べ過ぎると栄養の片寄った



設立20周年記念講演会講師 安藤和津さん



2007年度 常磐大学同窓会総会・懇談会
2007年6月16日(土)

「気付いたとき、母はすでに我慢の出来ない人になっていて、思い通りにならないことがあるといつも物に当たっていました。すぐに物を壊し、私が子どもたちのために作ったお弁当はゴミ箱に捨てられていたり。なぜこんなことをするのか分らず、私は母を恨んでいました」

上手だったお母さまの料理も、味付けが次第におかしくなり、お鍋の空焚きなど日常茶飯事。さすがに心配になったので、

脳のMRIを撮ってもらったところ、テニスボール程もある脳腫瘍が発見されたのです。

「母は脳腫瘍のせいで我慢が出来なくなっていたと分かったとき、優しくて大好きだった母を一時でも恨んでいたことを後悔しました。それから、母の好きだったインスタント食品は処分し、梅干しもつくだけ煮も全て手作りするようにしました。食生活を変えてから一カ月程たったころ、母は物に当たらなくなりました。母は物に当たらなくなりました。母は物に当たらなくなりました。」

「ヘルパーの資格試験が簡単になり過ぎていて、ヘルパーさんは、自分の仕事に誇りを持つていない方がいて、

「食事の支度と仕事の両立はとも大変でした。しかし、どちらも手を抜くわけにはいかず、ヘルパーさんにお手伝いをお願いしたのです。」

「ヘルパーの資格試験が簡単になり過ぎていて、ヘルパーさんは、自分の仕事に誇りを持つていない方がいて、



食
良
良

その中で志を高く持つて働いている方がどれくらいいるのでしょうか」
国という規模で介護について見直さなければ、この高齢化社会を乗り切れることは難しいかもしれません。
人生は楽しいこと辛いことの両方に直面します。安藤さんは「辛いことに直面したとき、それをマイナスのままにするのではなく、プラスに切り替えられる心の強い人間になってほしい。そのために、普段からきちんとした食生活を心掛けることが大切です。そうすれば、辛いことが起きたときにそれを乗り切る力になるはずですから」と話していました。
最後に「料理くらいは出来るようにならないと、家庭での居場所がなくなりやすい」と会場の男性たちにアドバイス。心当たりのある男性には耳の痛い話でしたが、講演は和やかな雰囲気のまま終了しました。



安藤 和津



東京生まれ。初等科から高等科まで学習院に学ぶ。上智大学卒業後、イギリスに留学。エッセイストやコメンテーターとしてテレビ番組などに出演。著書は『愛すること』が多数。俳優・映画監督の奥田瑛二氏と結婚し、現在は二人の娘の母。

PROFILE

2007年度

常磐大学同窓会総会・懇談会開催 ―設立二〇周年を迎えて同窓会支部設立促進へ―

二〇〇七年常磐大学同窓会総会、記念講演会および懇談会が、六月十六日(土)に水戸京成ホテルで開催され、約一〇〇名の卒業生が一堂に会しました。

大学同窓会会則の改正、常磐大学同窓会設立二〇周年記念事業、事業計画案、予算案に係る同意が満場一致で可決され、議事は終了、総会は閉会しました。

懇談会では、顧問であるコミュニテイ振興学部学部長の伊佐山忠志先生に、「地域に密着した大学として、地域や社会に貢献できる人材を育成し、社会に送り出したいので、卒業生の皆様のご協力とご支援を賜れば幸いです。」とのメッセージをいただきました。

総会は池田正則会長(第一期卒)が「この二〇年で大きく環境が変わり、大学運営も厳しい状況になってきていると思います。同窓会として大学運営に少しでも協力できたらと考えていますので、皆様のご協力をよろしく願います。」と挨拶され、続いて議長指名、議事へと進行し、事業報告、決算・監査報告、入会状況報告、役員選任報告、そして常磐大学同窓会支部の設立に関する細則の整備についての報告がなされました。議事の決議では、常磐

懇談会では、顧問であるコミュニテイ振興学部学部長の伊佐山忠志先生に、「地域に密着した大学として発展するためには、卒業生の皆様のご協力とご支援が不可欠であり、今後とも、皆様のご協力とご支援をお願いしたい。」とのご挨拶をいただきました。

また、名誉会長の高木勇夫学長から常磐大学が一九八三年に誕生し、第一期の卒業生が学業を巣立って以来、本年で二〇年が経過しました。この間九、一五〇名の卒業生を社会に送り出すことができました。地元

に密着した大学として、地域や社会に貢献できる人材を育成し、社会に送り出したいので、卒業生の皆様のご協力とご支援を賜れば幸いです。」とのメッセージをいただきました。

また、柄澤行雄先生、渡部茂己先生、依田泉先生、井上繁先生、横須賀徹先生からもご挨拶をいただきました。

齊藤久展副会長(第一期卒)の発声で乾杯した後、二〇年を振り返る映像が流されました。過去の学園祭や体育祭などの映像に映っている当時の仲間の様子に一喜一憂し、大いに盛りあがりました。最後は西野光範副会長(第二期卒)の三本締めで盛況のうちに閉会しました。



先生方と人間科学部第1期卒～10期卒の参加者



先生方と、人間科学部第11期卒～21期卒、国際学部卒、コミュニティ振興学部卒の参加者



○出席者コメント

人間科学部十八期 梶 正憲さん
「初めて参加したが、知り合いとも会えたのでよかった」

人間科学部一〇期 秋山 進人さん
「これからもますます同窓会が盛りあがっていくよう同窓会の皆様、がんばっていきましょう」

人間科学部一〇期 手島 弘之さん
「同窓会館の館長をしております。同窓会館は無料で使うことができますので、是非クラス会や学年の同窓会等で使用いただければと思います。ホームページでもご案内をしておりますので、見ていただいて、ご連絡いただければと思います。」



20年のあゆみ

常磐クローニクル

常磐大学が開学したのは、1983(昭和58)年。そして、第一期生が卒業し、同窓会が設立されたのが、1987(昭和62)年。今年、2007(平成19)年は同窓会設立20周年にあたります。開学当初は、人間科学部のみで単科大学だった常磐大学も、いまや人間科学部、国際学部、コミュニテイ振興学部の3学部を擁するまでになりました。簡単に20年の歩みを常磐大学の変遷や社会の情勢とともに振り返ります。

西暦

出来事等

1983年 開学(人間科学部人間関係学科、コミュニケージョン学科)

1987年 常磐大学同窓会設立
第一期生卒業(184名)

1988年 「サラダ記念日」(新語・流行語大賞)より、以下同じ)

1988年 人間科学部に組織管理学科増設
瀬戸大橋開通

1989年 昭和天皇没 皇太子明仁即位 「平成」と改元

1990年 「アッシーくん」

1991年 「バブル経済」

1991年 湾岸戦争

1993年 Jリーグ開幕

1993年 阪神・淡路大震災

1995年 地下鉄サリン事件

1995年 「だ・よ・ね(DA・YO・NE)」

1996年 「ま、いっか(MAICCA)」

1996年 国際学部設置(国際協力学科、国際ビジネス学科)

1998年 長野冬季オリンピック

1999年 東海村臨界事故

2000年 「リベンジ」

2000年 総会・懇談会・講演会(田崎真也氏)

2001年 コミュニテイ振興学部設置

2001年 「コミュニテイ文化学科、ヒューマンサービス学科」

2001年 棟食堂に「プロジェクト一式」寄贈

2001年 アメリカ同時多発テロ



常磐大学同窓会支部細則

制定 2007年5月26日 幹事会

- (目的)
第1条 この細則は、常磐大学同窓会会則（以下、会則）第21条に定める支部に關して必要な事項を定める。
- (単位)
第2条 支部は次の単位とする。
1. 都道府県
2. 卒業年度
3. セミナール
4. サークル
5. その他、幹事会が認めたもの
- (構成員)
第3条 支部は会員20名以上をもって組織する。ただし、前条第1号については、10名以上をもって組織することを認める。
② 支部には、支部長および副支部長を置く。
- (申請)
第4条 支部の設立にあたっては、次の書類を事務局に提出するものとする。
1. 支部設立願
2. 支部員名簿
3. 支部章程
4. 支部事業計画
5. その他、幹事会が必要と認める書類
② 前項第1号から第3号について変更した場合は、すみやかに事務局へ報告しなければならない。
- (設立審査)
第5条 支部の設立にあたっては、前条で定める提出資料を基に事務局にて審査を行い、幹事会で承認を得るものとする。
② 前項の幹事会承認日をもって、支部の設立とする。
- (活動報告)
第6条 支部は、次の書類を事務局に提出しなければならない。提出時期は毎年4月末日までとする。
1. 当年度事業計画書
2. 前年度事業報告書
3. その他、幹事会が必要と認める書類
- (解散)
第7条 支部が解散しようとする場合には、次の書類を事務局に提出し、幹事会の承認を得るものとする。
1. 解散届
2. 解散理由書
② 支部の活動が次の事項に該当する場合、幹事会は、その支部を解散させることができる。
1. 本細則に定める事項が遵守されていないと認められる場合
2. 常磐大学同窓会の名誉を著しく傷つけた場合
③ 本条第1項および第2項の幹事会承認日をもって、支部解散とする。
- (経費補助)
第8条 支部の設立および運営にあたり、必要な経費が生じる場合には、経費補助として、補助金を受け取ることができる。
② 補助金は、当該年度の予算範囲内において、1支部あたり50,000円を上限とする。
③ 経費補助を受けた場合は、会計報告書および幹事会が必要と認める書類を提出しなければならない。提出時期は毎年4月末日までとする。
- (経費補助申請)
第9条 支部設立にあたって、経費補助を受けるときは、第4条に規定する申請の際に、次の各号の書類を提出するものとする。
1. 必要経費申請書
2. 見積書
3. その他、幹事会が必要と認める書類
② 支部運営にあたって、経費補助を受けるときは、前項各号の書類を、補助金を受けようとする前年度の12月15日までに、事務局に提出するものとする。
- (経費補助審査)
第10条 経費補助にあたっては、前条で定める提出資料を基に事務局にて審査を行い、幹事会で承認を得るものとする。
② 前項で承認された経費補助の支給は、原則として毎年4月末日までとする。ただし、幹事会が認めた場合にはこれを変更することができる。
- (補助金の返還)
第11条 補助金の使途が次の事項に該当する場合、幹事会は、支部長と協議の上、補助金の一部あるいは全部を返還させることができる。
1. 申請した目的以外に、使用したと認められる場合
2. 補助金の執行が申請内容と著しく異なる場合
3. その他、幹事会により返還の必要があると認められる場合
- 附則
1. この細則の改定は、幹事会出席者の3分の2以上の同意を必要とする。
2. この細則は2007年6月16日より施行する。
3. 2007年度に運営経費補助を受けようとする場合、第9条第2項に規定する提出期限については、事務局と協議の上決定する。

常磐大学同窓会設立20周年記念事業

1. 常磐大学同窓会設立20周年記念講演会

実施内容：2007年度総会にあわせ設立20周年を記念した講演会を実施
対象者：会員及び非会員（同窓会総会・懇談会出席者）
実施目的：著名人の講演会を開催し、総会・懇談会へのより多くの同窓生の出席を促し、同窓生相互の親睦・交流の場を提供するとともに、非会員への入会促進を図る。

2. 在学生表彰（例：同窓会長賞）の創設

実施内容：本会より母校へ在学生向け表彰（例：同窓会長賞）の創設について働きかけを行い、創設された場合、その副賞の資金として、本会より寄付を行う。（詳細については、母校と検討の上決定）
対象者：在学生のうち、学業や課外活動等で顕著な成績や成果をあげた個人または団体
実施目的：在学中の諸活動で、顕著な成績や成果を上げた個人や団体に対して賞を授与することにより、在学生の諸活動の活性化を支援し、本会及び本会の活動に対する認知度、理解度の向上を図る。

3. 常磐大学同窓会支部設立促進活動

実施内容：支部設立に関する細則の整備および支援
対象者：会員
実施目的：支部設立を促進し、会員相互の交流の活性化を図ることにより、本会並びに母校の更なる発展に寄与する。
実施期間：2007年度より3年間
特典：上記期間については支部設立支援として、細則に定める経費補助の他、3万円を上限とする設立案内状等の発送業務代行を行う。（発起人が指定する会員への、案内状の印刷・発送・封筒の費用を負担し作業を代行する。個人データの提供は行わない。）

2006年度 常磐大学同窓会事業報告

1. 2006年度常磐大学同窓会総会および懇談会の開催
○開催日：2006年6月11日（土）
○場所：三の丸ホテル
○出席者：69名
○主な議案等：
【報告】2005年度事業報告、決算報告、入会状況
【議案】2006年度事業計画、予算案の審議
※総会終了後、懇談会を開催
2. 幹事会の開催
○実施時期および主な議案等：
5月 2005年度事業報告、2005年度決算について 等
11月 2006年度総会報告
学生支援事業報告、設立20周年記念事業、支部細則について 等
3月 2007年度事業計画、2007年度予算について 等
3. 学生支援事業
1) 学園祭への援助金（2006年10月）
2) 記念体育館へのステージ幕一式支出（2007年2月）
4. 会員への大規模の発信
○時期：第3号（7月31日発行）、第4号（1月31日発行）
○内容：会報「ときわの風」を発行し、会員へ送付
5. 常磐大学同窓会ホームページの維持および管理
○時期：随時更新
○内容：総会開催模様掲載、異動情報受付 等
6. 卒業生の個人情報管理
○時期：随時更新
○管理情報：氏名、学籍番号、住所、電話番号、勤務先、ゼミナール、サークル 等
7. 卒業生状況調査
○調査時期：9月
○管理情報：氏名、学籍番号、住所、電話番号、勤務先、ゼミナール、サークル 等

2007年度 常磐大学同窓会事業計画

1. 定期事業計画

| 月 | 事業内容 |
|----|--------------------------|
| 4 | |
| 5 | 幹事会（前年度決算報告、前年度事業報告） |
| 6 | 総会・設立20周年記念講演会 |
| 7 | 同窓会会報（第5号）発送 |
| 8 | |
| 9 | |
| 10 | 幹事会 学生支援事業（学園祭援助） |
| 11 | |
| 12 | |
| 1 | |
| 2 | 同窓会会報（第6号）発送 |
| 3 | 幹事会（次年度予算案承認、次年度事業計画案承認） |

2. その他の事業計画

- 1) 学生支援事業（在学生表彰賞）
- 2) 卒業生の個人情報管理
- 3) 常磐大学同窓会ホームページ維持・管理
- 4) 同窓会支部設立促進活動

(補足)
1) 同窓会会報には、総会の議決内容・報告内容を掲載する。
2) 単年度名簿の発行は、個人情報保護法の完全施行に伴い見合わせる。

2006年度 常磐大学同窓会決算書

(単位：円)

| 項目 | 決算額 | 予算額 | 差異額 | 備考 |
|---------|------------|------------|-------------|--|
| 収入の部 | | | | |
| 会費収入 | 15,400,000 | 15,720,000 | △ 320,000 | 新入会員 770名 |
| 事業収入 | 140,500 | 140,000 | 500 | 総会・会費 出席者 69名 × @2,000円 託児室利用料 5名 × @500円 |
| 雑収入 | 366,364 | 250,000 | 116,364 | 資金運用収入・預金利息 等 |
| 小計 | 15,906,864 | 16,110,000 | △ 203,136 | |
| 前年度繰越金 | 75,467,011 | 75,467,011 | 0 | 運用資金(50,000,000円)含む |
| 合計 | 91,373,875 | 91,577,011 | △ 203,136 | |
| 支出の部 | | | | |
| 人件費支出 | 10,000 | 20,000 | △ 10,000 | 総会託児室アルバイト代 |
| 消耗品費支出 | 85,852 | 163,000 | △ 77,148 | 印刷用紙、総会関係消耗品 等 |
| 交通費支出 | 25,610 | 115,000 | △ 89,390 | 総会費・幹事会出席者(幹事・幹事) 交通費 |
| 庶務費支出 | 72,257 | 100,000 | △ 27,743 | 会員・現職教員・旧教員の過去に付する香典 諸済みよ記念館竣工記念御祝(生花) |
| 通信費支出 | 1,709,475 | 2,613,000 | △ 903,525 | 総会案内・会報・卒業生状況調査等 郵送料 (卒業生状況調査回答の郵送料を含む) |
| 印刷費支出 | 777,210 | 814,000 | △ 36,790 | 総会案内・会報等 印刷費 |
| 会議費支出 | 357,512 | 517,000 | △ 159,488 | 総会・幹事会 会議費 |
| 渉外費支出 | 4,080 | 15,000 | △ 10,920 | 会報原稿執筆謝礼 |
| 業務委託費支出 | 209,143 | 218,000 | △ 8,857 | 送付物(会報等)袋詰り作業 委託費 |
| 雑費支出 | 1,785 | 10,000 | △ 8,215 | 振込手数料 |
| 支援事業費支出 | 1,050,000 | 1,050,000 | 0 | 体育館源氏幕寄贈、学園祭援助 |
| 小計 | 4,302,924 | 5,635,000 | △ 1,332,076 | |
| 次年度繰越金 | 87,070,951 | 85,942,011 | 1,128,940 | 運用資金(50,000,000円)含む |
| 合計 | 91,373,875 | 91,577,011 | △ 203,136 | |

2007年度 常磐大学同窓会予算書

(単位：円)

| 項目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 差異額 | 備考 |
|----------|-------------|------------|--------------|---------------------------------|
| 収入の部 | | | | |
| 会費収入 | 13,500,000 | 15,720,000 | △ 2,220,000 | 2007年度入会者(新年670名+既卒5名×20,000円) |
| 事業収入 | 520,000 | 140,000 | 380,000 | 懇談会会費収入(160名×2,000円+40名×5,000円) |
| 雑収入 | 50,000 | 250,000 | △ 200,000 | 預金利息等 |
| 積立金等運用収入 | 324,000 | 0 | 324,000 | |
| 小計 | 14,394,000 | 16,110,000 | △ 1,716,000 | |
| 前年度繰越金 | 75,467,011 | 75,467,011 | 0 | |
| 現預金 | 37,070,951 | 38,396,060 | △ 1,325,109 | |
| 積立金等 | 50,000,000 | 0 | 50,000,000 | オリックス株式会社、日本生命社債 |
| 小計 | 87,070,951 | 75,467,011 | 11,603,940 | |
| 合計 | 101,464,951 | 91,577,011 | 9,887,940 | |
| 支出の部 | | | | |
| 人件費支出 | 20,000 | 20,000 | 0 | 総会補助等 |
| 消耗品費支出 | 156,000 | 163,000 | △ 7,000 | 印刷用紙、印刷機消耗品、総会関係等 |
| 交通費支出 | 115,000 | 115,000 | 0 | 幹事会出席幹事交通費等 |
| 庶務費支出 | 100,000 | 100,000 | 0 | 庶務関係 |
| 通信費支出 | 2,624,000 | 2,613,000 | 11,000 | 総会案内、会報送付、支部設立支援等 |
| 印刷費支出 | 1,019,000 | 814,000 | 205,000 | 会報、封筒印刷等 |
| 会議費支出 | 1,230,000 | 517,000 | 713,000 | 総会、幹事会等 |
| 渉外費支出 | 20,000 | 15,000 | 5,000 | 会報原稿執筆謝礼、取材先土産等 |
| 業務委託費支出 | 245,000 | 218,000 | 27,000 | 送付物袋詰り作業等 |
| 雑費支出 | 10,000 | 10,000 | 0 | 振込手数料 |
| 支援事業費支出 | 1,350,000 | 1,050,000 | 300,000 | 学生支援事業、支部運営補助 |
| 報酬手数料支出 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | 講演会謝金等 |
| 小計 | 7,889,000 | 5,635,000 | 2,254,000 | |
| 現預金 | 43,575,951 | 85,942,011 | △ 42,366,060 | |
| 次年度繰越金 | 50,000,000 | 0 | 50,000,000 | オリックス株式会社、日本生命社債 |
| 小計 | 93,575,951 | 85,942,011 | 7,633,940 | |
| 合計 | 101,464,951 | 91,577,011 | 9,887,940 | |

学生支援事業報告



2006年度学生支援事業の一環として、C棟記念体育館に源氏幕を寄贈（購入資金一部援助）しました。今後とも学生のための有効な支援事業を行っていかうと思います。

2007年 2006年 2005年 2004年 2003年 2002年

総会・懇談会・講演会（陣内貴美子氏）以後総会・懇談会は毎年開催
学生ラウンジ用テレビ2台 寄贈
第17回 サッカーワールドカップ 韓国・日本大会
学園祭用「テント20張」寄贈
「マニフェスト」
記念体育館に「演台」寄贈
人間科学部人間関係学科、組織管理学科を改組し、現代社会学科を設置
国際学部国際協力学科、国際ビジネス学を改組し、国際関係学専攻（国際協力学専攻、国際ビジネス学専攻）、英米語学を改組
O棟1階インターネットカフェ「ラバツア」に「カウンターテーブル4台と椅子12脚」寄贈
会報「ときわの風」創刊
記念体育館に「源氏幕」寄贈
コミュニケーション振興部に地域政策学科増設
「イナバウアー」
設立20周年記念講演会（安藤和津氏）支部細則制定
在学生表彰の創設準備中
会員6,468名（卒業生9,150名）



